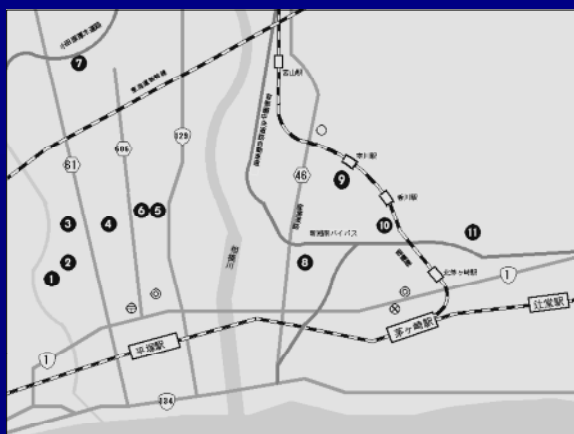




トトム通信



- ① 本部/ぶんぶん/えぼっくハウス
- ② ゆうゆうクラブ
- ③ 飯塚マンション (ゆうゆう分室)
- ④ 黄色の家 (えぼっく分室1)
- ⑤ キャロット工房 (えぼっく分室2)
- ⑥ グリーン工房 (えぼっく分室3)
- ⑦ アンヌ (えぼっく分室4)
- ⑧ あいあいクラブ
- ⑨ いずみビル201号室 (えぼっく分室5)
- ⑩ ケアホームとむ郎
- ⑪ ゴロゴロクラブ

特集：放課後等デイサービス事業

- P 2 あいあいクラブ (茅ヶ崎市萩園)
- P 4 ゴロゴロクラブ (茅ヶ崎市赤羽根)
- P 6 ゆうゆうクラブ (平塚市御殿)
- P 8 あいあい、ゴロゴロ合同保護者会レポ
- P 9 新人職員紹介
- P 10 掲載第3回手記：利用者からの目線
- P 11 福祉ショップ「ありがとう」紹介
- P 12 お知らせ・編集後記



あいあいクラブ



ユミさん



タケシさん



カヨさん

普通の会話より…

マイペースの「カヨさん」(眞壁 香代)
おっちょこちょいの「ユミさん」(岡本 由美)
いたずらっ子の「タケシさん」(岸 文志)
こんな三人の妄想が、はじまりました。

カヨ>ねえねえ、タケシさん。あいあいクラブにきて1年経ったけど、振り返ってみてどう？
タケシ>だいぶ、あいあいクラブの雰囲気は溶けこめてきたし、職員同士の連携で、もたつくこともなくなったよ。ユミさんとカヨさんとの掛け合いができるようになったし。もともと人と関わることが好きだし、手を動かす仕事も好きなので、子ども達と遊んだり掃除したり、壊れた物を修理したりと、やることは尽きないよ。あいあいが必要な物をいろいろと手作り出来たので、充実した1年でもあったかな。

逢いたかった子ども達にも会えたし、支援を通じて自分がやれることや、必要なことが見えてきた。

子ども達のいたずらな行動は、やることなすこと共感できることばかりで(俺も同じ事してた)自分を見ているよう(笑)。

ユミ>そっか、だから子ども達とも馴染めたのかな。

タケシ>子ども達の成長をみて将来を妄想するのもいいよね。将来、一緒に働けたら楽しいだろうな、あれならできるかな？これならどうだ？って、試行錯誤する事が楽しい。

お弁当屋をやってみたいな。そしたら毎日、お弁当の注文して下さいね。成長した子ども達が御用聞きだから断れないよ。(笑)

カヨ・ユミ>おっ！それいいじゃん。

ユミ>ついでに、子ども達のおやつも作って配達してよ。手作りおやつの方が楽しみ増えるしね。

タケシ>楽しそう！そしたら食材も作るか。畑と野菜加工所・直売所。なんか作業所いっぱい必要だなあ。



タケシ>疲れてきたら休憩できるようにカフェを作りましょう。これは、あいあいクラブに併設だな。お迎えのお母さんたちがお茶して一息出来る場所もあったらいいね。

子ども達があいあいクラブに居ないときは、弁当を作って、子ども達が来たら遊んでもらう。今のままだと遊ぶ場所が狭いから事業所を改修して、地下に通年入れるプールを作って天気のいい日は屋上でランチしたり、おやつを食べる。屋内はハンモックとブランコも欲しいから取り付けが出来るような柱を立てて天井も高くしよう。雨の日は、部屋の中にとじこもり気味だけど天井が広いと随分ちがうね。ついでに天井を空色にペイントしたいな。どうでしょう？

カヨ>いいけどさあ、、、どこまでできるかなあ〜ブランコ・ハンモックはタケシさんが作るとして、問題は建屋の方だな。

ユミ>夢みたいプランだねえ。カフェで、お母さん達が集まれば井戸端会議で色々な話は出来そうだね。

カヨ>始めはみんな、うまくいかないかもしれない。でも、子ども達は経験すればするほど出来ることが増えていつも通りなるとかなるんだよきっと。違う仕事ができるようになった結果、離れた場所にある作業所にも通うことになって、最初は困るけど、ゆっくり少しずつ出来るようになるんじゃないかな。そうしていくうちに社会に出る楽しみが増えてヤル気も湧いてくると嬉しいね。

カヨ・ユミ・タケシ>楽しい未来だね。

~~~~~

膨らみすぎた妄想はさておき、私達は職員として法人としても、子ども達と学び成長し続けていきたいと考えています。

そしてこの3人の妄想がいつか夢となり、目標となり、現実となる日がくるよう、先ずは毎日楽しく過ごしたいと思います。

# あいあいクラブ



きゃ〜♪



新人のアユミさんもよろしく!



あっぷっぷ!



## ハレートーク

こんにちは。西山莉央の母です。現在4年生で、あいあいには1年生の時からお世話になっています。

産まれた時は障がいがあるとは分からず、ほんの少し低体重で退院が遅かったくらいでした。今考えると母乳は全く飲まず、哺乳瓶でミルク10mlを30分かけて飲んだり、首のすわりも遅かったり、目が合わないなど気付く時があったはずですが、心の中で少し成長が遅いだけ・・・と自分に言い聞かせていたんだと思います。6ヶ月健診のあと保健師さんに「一度病院に行ってみて。」と言われてやっと病院に行くことが出来ました。病院で脳に異常があり、発達遅滞・知的障がいなどがあると分かりました。それでもゆっくり成長し、就学前には哺乳瓶でのミルクも200mlを一気飲みできる程になり、首もすわり、物を目で追って手を出せるまでになりました。

あいあいに通い始めた時は哺乳瓶を持参で、おやつの代わりにミルクやエンシュアを飲ませてもらっていました。でも、1年生の途中からペースト食を食べられるようになり、それまでの間もあいあいでは過敏をとる為、顔を触ってもらったり私の注文以上に対応していただいていた有難く思っています。

今では食べるのが大好きになり、あいあいでも色々なおやつを食べさせてもらって大満足なはずです。

9月の座談会に出席させてもらいましたが、保護者一人一人の要望、意見、感想などを聞いて下さり、回答していただいて信頼、期待が広がりました。トムトムの立ち上げの大変だった話も聞け、保護者も協力出来ることは出来る限りして、子ども達・スタッフの方が笑顔になれる場所を維持して行って欲しいと思いました。

これからも親子共々よろしくお願ひします。



# ゴロゴロクラブ

和田エンデルレ 星治郎

ゴロゴロクラブの職員として過ごす、2度目の夏休みが終わりました。今年も昨年と同じく、大きな怪我や事故もなく過ごす事が出来ました。

思い返すと、私とゴロゴロクラブとの出会いも夏休みでした。

今から6年前、当時学生だった私はアルバイトとして、ほんの少しですがゴロゴロクラブにお邪魔していました。初めて出勤した際、散々迷って到着したゴロゴロクラブの周り是一片畑・・・短い間ですが、そこで過ごした夏休みは私の記憶の中にしっかりと残っています。

それから、茅ヶ崎駅やデパート等でゴロゴロクラブの利用者さんを見かけるたび「みんな元気してるかなあ」「背が伸びたなあ」等とひとりで思い返していました。一緒に過ごした利用者の方達が、私と同じ街で暮らし、成長されていく姿を見るのが、何とも嬉しくて、声を掛けたくても「覚えてないだろうなあ」と二の足を踏んでいた自分が思い出されます。

縁あって2年前にトムトムに入職し、5年ぶりにゴロゴロクラブを訪れた時、また散々迷った時は少し自分が情けなくなりましたが、以前とかわらない風景に懐かしさを感じ、利用者の方々との再会には喜びを覚え、私はトムトムの職員としてスタートを切りました。

振り返るともう2年、日々の業務に追われ、まだまだ失敗だらけの未熟者ですが、皆さんに関わる支援者として、同じ職場で働く同僚として、そして地域で暮らす仲間として、一緒に歩いていたらと思っております。



茅ヶ崎養護学校のプールにて

鐘田 佐知子

今、ゴロゴロクラブでは16名の職員で支援にあたっている。楽しく個性がある人達で各々に見習うべきところがあり、活動を続ける上でいつも励まされている。何故この仕事を始めたのか、きっかけは各々異なるだろう。偶然今の職場を選んで集まった人達が、今ではここだから働きたいという思いでチームワークを支えてくれているのかなと感じている。住んでいる地域で何かできることがあればと思った人と、地域で暮らす為にサポートを必要としている人とそのご家族…その出会いの一つがトムトムである。スタッフ達は、ゴロゴロクラブに来て利用者さんから“元気”を頂いているのだと話している。自分自身も元気が出ない時に、利用者さんが頭にポンと手を乗せてくれたり、とびっきりの笑顔で応えてくれたり、その瞬間瞬間が前を向く原動力となってくれている。(皆さんの本当に素晴らしい力・・・なんです。)

日々の活動の中ではまだまだ至らない点や課題も多い現状だが、スタッフ達も具体的な個別の接し方や、放課後(通所後)のサポート全体の有り方までいろいろと考えてくれている。利用者さんお一人お一人を理解していきながら、状況に合った集団活動を進めていくと共に必要な個別の対応が出来ればと考えている。また幅の広い年齢層の方々に対応しながら、「教育」期間を卒業し社会に出る為の、そして出た後の“暮らし”に沿った多様な形でのサポートが必要ではないかという問題を身近に感じている。

これまで出会ってきた利用者さんとたくさんの職員(退職した方も)によって、今のトムトムが築かれてきている。現在のスタッフ達と、またこれからのトムトム職員達全体でどこまで目的意識を共有しながら支援できるか、という事が課題の一つではないだろうか。自分個人の出来る事はごく僅かではしかなく、日々の活動や業務の中で力不足を実感することが多いが、周囲の方々と一緒にこの仕事に関わらせて頂ける感謝の思いにまた立ち返る。“トムトムらしい支援”が、出発点であった茅ヶ崎で続けられることを願っている。

# ゴロゴロクラブ



電車に乗って外出もしたヨ♪



## ハレトーク

こんにちは。早乙女美咲の父親です。今回は私がリレートークを書かせていただきます。

美咲は茅ヶ崎養護A高等部2年花の女子高生です。

重度の知的、身体の重複障がい児で小さな頃からあいあい、ゴロゴロでお世話になっています。現在共働きの為に平日は毎日、土曜日時々お願いしています。

娘の病気が判ったのは年子の弟が生まれて少し経った頃でした。その時のショックや今迄の葛藤は話すとなかなか長いのでやめます。ただ、どのご家庭でも経験されたことだと思います。また私自身のことではありますが、いざとなったら・・・というより今でもそうですが父親は何もできずにお口お口するばかり、何の役にも立たないのだなと痛感させられました。

現在の状況ですが、我が家はやはり美咲中心の生活となります。高2の美咲、高1の長男、小4の次男の3人兄弟ですが、よく美咲の面倒も見てくれる非常に助かっています。小さな頃からそれが自然なものと、私が弟達には「み～ちゃんかたま今の状態だけであなた達が美咲の状態になってほしい」と日頃から言っています。当然我慢もしてはならないし、それぞれが思うこともあるでしょうが家族全員で協力することが早乙女家のやり方と決めています。

ゴロゴロから美咲が戻れば私は必ず弟達を呼び、車椅子は長男が片付け、次男は荷物をするのが当たり前のこととなっています。今では弟達それぞれが大きくなった椅子で、専ら美咲は土日などの休み日は父親と遊びに出かけます。障がいを持ち車椅子の子となると行く場所に制限もありますが、今までにコンサート、大道芸、サンバ、花下アイドル、各種イベントに出向いています。季節によってはプールや盆踊り、花火、祭りなども行きます。この際に大前提としているのは一緒に楽しむことです。美咲も楽しいが家族も楽しめる所に行く、また楽しむことを大切にしています。特に毎週の休みは父親と2人で各種イベントに行くので私が楽しいところも考慮に入れて行く場所を探しています。最初はどこに行ったら美咲は喜んで楽しめるのか？と思いました。結局一緒に居られることや外に出かけて全く違う空気に触れることが一番いいのだと思います。様々な場所に出発しています。またトイレや移動手段、食事のことと考えることも多かったですが、行けば何とかなるし、イベント等では直接電話をして可能かどうかとも調べます。美咲は賑やかな所が大好きなので何でもござれです。特に大道芸などは100組以上観ましたし、よく観る芸人さんは向こうから声を掛けてくれます。

長々と書きましたが結局私自身が楽しいのです。ストレスを感じることもあります。が、それはそれ・・・よく考えたら世間一般には女子高生の娘が父親と出掛けるなんてお願いしても断られるでしょうし・・・そう考えればアリですかね。

ほぼ美咲と私の行動パターンの紹介になってしまいましたが、このように毎週元気に週末を過ごせるのも平日ゴロゴロにお世話になっているからです。いつもご丁寧に対応して下さい「かゆいところに手が届く」ありがたい存在に親は120%安心して信頼してお願いしております。今後もお願い致します。

# ゆうゆうクラブ



夏休み活動について

東 真巳

春から夏の季節に移り変わり始める6月の時期になると夏を感じ始めるようになり、夏休みの事が頭に浮かんでくるようになります。

そして、夏休みに向けて準備を始めるのも6月からです。

ボランティアとしていつもお世話になっている湘南養護学校や平塚養護学校にお声掛けさせて頂き、今年度も8名の先生方にお手伝いをしていただきました。

先生方もお子さんたちの関わりに慣れていて安心してお任せする事が出来ました。最後に感想を聞くと、学校での様子とうゆうクラブでの様子の違いにギャップがあるようです。

その他、スタッフの友人で毎年3名の方にお手伝いに来て頂いています。

毎年来て頂いている方もいて、いろいろなお子さんがいる事に関心を持って来て頂く事は大変うれしく思います。

身近なところからいろんな方に関心を持って頂き、より地域に受け入れてもらえるようになっていければいいと思います。ボランティアとしてご参加頂き、ありがとうございました。

夏休み中のゆうゆうクラブの活動では、外出、おやつ作りや草花の育成、歌や本の読み聞かせ等行ないましたが、中でもプール遊びが大人気でした。

湘南養護学校と平塚養護学校のご厚意でプールを使わせて頂く事が出来て、とても感謝しています。

今年度もおかげさまで12回もプールに入る事が出来ました。

お子さんたちも慣れた場所でプールに入れる事でリラックサして遊べたことと思います。

プール活動は夏休みイベントとして欠く事の出来ない行事です。

そして、夏休みに入るとプール活動を含めてゆうゆうクラブの活動を全面から支えてくれたのが、現場でお子さんたちの関わりを大切にして頂いている非常勤スタッフです。

とにかくゆうゆうクラブに来るお子さんの喜ぶ表情をたくさん引き出したいと、試行錯誤しながらお子さんたちと関わっています。

考えてみると、ゆうゆうクラブも周囲の支えがあってこそ成り立っていると、改めて感じさせられました。

ご利用者とその保護者の方々をはじめ、支えて下さっている皆さんに恩返ししていきたいと思えます。

これからもゆうゆうクラブを、よろしくお願ひします。

## 私のトムトムへの思い

尾迫 裕人

縁を大事にしていきたいと思いつながら、自分の業務をしております。

入社時はえぼっくハウスで働き、現在はゆうゆうクラブ専属です。

トムトムで働きう年半という月日はとても早く感じます。毎日が失敗ばかりでした。現在も失敗し反省の繰り返しですが、その繰り返しで一つクリアして、また、新たな事をクリア出来る様に努力してあります。

入社時は先輩方によく利用者さんの事や、相談をしたり、聞いたりしながら過ごしていました。

まだまだ迷惑をかけてしまう事もあり、先輩方や上司に生意気な事を言ってしまったと反省する事もあります。そんな日々を過ごしていくうちに自分自身、出来なかつた事が少しずつではありますが、クリア出来る様になってきました。それは、利用者さん、親御さん、職員、学校、地域という様々な縁があつてこそだと思ひます。トムトムに入社してから、こんなにも出会いがあり自分自身が成長していける場所に巡りあえた事に感謝してあります。

トムトムに入社するまで、様々な仕事をしていましたが、何か物足りない日々でした。そんな時、自分らしく働かせてもらえる仕事を利用者さんと過ごす時間だったのを思い出し、このトムトムに面接しに来たのを覚えてあります。

それも一つの縁だと思ひてあります。

その縁を大切にトムトムに来て頂いている利用者さんの時間を大事にしていきたいと思ひてあります。今後、私だけでなく利用者さんも色々な方との縁があると思ひます。その縁でどんな変化が生まれるか解りませんが、良き出会いがあり心が豊かになれる事があるかと思ひます。沢山の人と出会い様々な事を経験し、感情を豊かに出来る事を楽しみに、一緒に過ごせる時間を大事にさせて頂ひます。

私の日々の業務

難波 美行

私の日々の業務は、制度請求や利用者さんの支給量の把握などの事務の業務と、支援が大幅をしめています。

制度請求では、正確さを求められますが、私はいつもシステムを見る時、思い出す言葉があります。

トムトムに勤める以前は、十五年間、貿易事務、主に航空貨物の仕事をしています。全世界共通の規定を元に、貨物の輸出をしていたのですが、よく上司に「航空貨物に、MUST GO.はない」と言われていました。私の性格を上司が見抜いて、正確な日時、正確な場所に届けなければいけない仕事の中に、イレギュラーがあると聞いたかったのだと、当時は思っていたのですが、今、思い返すとそれだけではなかったのかなとも思います。同じ物を同じ場所へ送り続ける中に、何か柔らかいもの、もつとそこから広がるもの、それをデータなり、日々の業務から感じてほしかったのだと思うのです。

今、私が使わせてもらっているシステムのなかから、受給者証の中から、硬い数字の中から、私ができる

柔らかいものは、何か。

支援では、毎日、二十人前後の利用者さんがゆうゆうクラブに来てくれています。

利用者さんにとっても、スタッフにとっても楽しい日もあれば、なんとかやり過ごす日もあります。そんな毎日の中で、私はいろんなことを、利用者さんに聞かれるのですが、先日こんな質問をされました。

「難波さんも、いやな気持ちになることある？ そうしたら、その気持ちはずっと残るの？ どうやったら、なくなるの？」

喧嘩について私と話しをしていた利用者さんから出た言葉でしたが、上手く答えることはできませんでした。

事務処理も支援も、私の日々の業務は、まだまだ柔らかいものが見えてきません。



## ハルーツ

こんにちは、高橋優貴の母です。我家の三男、優貴は、現在、湘南養護学校高等部の3年生です。自閉症と精神発達遅滞で言葉は話すと言うより、オウム返しがほとんどです。

会話はもちろん、物事の説明もできません。また、普段の生活の中で優貴独自のやり方でないと気が済まないことがいくつかあります。

そんな優貴が小学部に入學した頃から、自分の手を噛むようになりました。優貴にとって学校に通うことで、急に今までの生活パターンが変わり、それが相当のストレスだったのでしょう。それ以来、学校生活には慣れても、不愉快な思いの時など言葉では言えない分、自分の手を噛んで怒っていることをアピールすると同時に怒りの気持ちを抑えているようです。相変わらず、今でもやっています。

優貴の好きなものは音楽（歌）です。家では歌の絵本の「音の出る方」をよく持ち歩いています。もちろん音（歌）を鳴らしながら・・・ちなみに「絵本（歌詞）の方」は、とっくにハサミで細かく切って無くなりました。幼い頃から見ているNHKのテレビ番組「おかあさんといっしょ」は、今でも、登校前に見ています。歌が始まるとテレビのボリュームを上げてノリノリです。高等部3年生になってもこの調子です。

そしてゆうゆうクラブとの出会ったのは、中学部に進んだ時です。今年で6年目になります。ゆうゆうクラブでは、優貴はありのままの姿を見せているようですが、中学部から高等部にかけて、体の成長と共に反抗期の後は思春期突入なのか？ やたらイライラすることが多くなりました。しばしば周りの人（主に学校の先生、ゆうゆうクラブのスタッフ、私）にも八つ当たりするようになってしまいました。そんな優貴にゆうゆうクラブでは、小さなことでもよく褒めてくれました。何かお手伝いをしたら「ありがとう」と言ってくれます。優貴のことをいつも理解し対応して下さるゆうゆうクラブの方々には、本当に感謝しております。

卒業まであと半年をきりましたが、これからも、放課後の楽しい時間を過ごせますように、よろしくお願い致します。

## あいあいクラブ・ゴロゴロクラブ合同保護者懇談会レポ

平成26年9月17日(水)10時～12時 茅ヶ崎市役所分庁舎A会議室にて

長い夏休みが終わり、茅ヶ崎支部では、あいあい、ゴロゴロの合同保護者会を行いました。会には保護者22名がご参加くださり、職員12名、アドバイザー1名の総勢35名の大人数で多いに盛り上がりました。保護者1人1人からのご意見を伺うことができ、法人としては、今後の方針を決めるために、とても重要な会でもありました。その中で、特に多かったご意見を紹介します。



### ★意見交換（保護者の方より）

- ・子どもは高校生で進路を探している。実習に行っているが選ぶ事業所が無い状況。茅ヶ崎市は数が少ない。トムトムで茅ヶ崎にも成人の事業所を造ってほしい。
- ・日中一時支援事業所が少ないので将来が心配。余暇時間や大人になってからの時間の過ごし方がすごく不安。少しでも本人が充実した時を過ごせるサービスを希望している。
- ・平塚のえぼっくハウスのような、延長でお預かりしてもらえるサービスがあると助かる。同じ事業所の中でサービスを一貫して利用は可能なのか。
- ・先日、えぼっくハウスを見学させていただき、とても良いと思った。大人になった時の過ごし方が大事なのでトムトムでも茅ヶ崎に卒業後の場所を作っていただきたい。
- ・小学生からあいあいクラブを利用し、今は高校生となりゴロゴロクラブを利用している。卒業後の進路を探しており、実習にも行っている。卒業後の事業所での食事の形態などにも心配がある。
- ・肢体不自由児の生活支援の様子などお聞きしたい。
- ・あいあいクラブの利用で視野が広がっている。今後ゴロゴロクラブの利用も考えているが帰り送迎がネックになっている。送迎を是非お願いしたい。
- ・夏休みは行き場がなく困った。市役所や養護学校にフリースペースを作ってもらいたい旨の要望を出した。子どもが小さい内に宿泊出来る所が欲しい。（小規模多機能型など）
- ・心配な事が2つある。高校卒業後の進路とショートステイ先の件で、通い慣れた事業所があったら良いと思う。
- ・働いているので、子どもを遅く迄見ていただいて助かっている。高校卒業後、通所後のお預かりの場所があると良いと思っている。兄弟児の事もあるので、日中一時支援の場所を是非確保していただきたい。
- ・進路先を検討中。重度なので生活介護の受け入れ先が少ない状況である。トムトムで茅ヶ崎にも生活介護事業所を是非作ってほしい。ショートステイもあるとよい。
- ・安心して通える場所が大事だと思っている。えぼっくハウスの見学で、地域で生活していきたいと感じた。茅ヶ崎、寒川地域に生活介護の場を作って頂きたい。
- ・えぼっくハウスの見学をして、発作時の対応、作業場所とリラックス出来る場所があるところなど、とても理想的だった。就労Bのことぶきでの作業も利用者が自然に溶け込んでいる感じだった。
- ・ゴロゴロクラブで今、子どもは楽しく過ごしているのが卒業後も出来たら同じ事業所に通える場所があったらと思っている。同世代の子ども達が通える場所を茅ヶ崎にも作って頂きたい。



<質問の回答 事業部長：露口 信行>

- ・えぽっくハウスでは利用者それぞれの状態に応じて、活動場所を変えて支援を行なっている。
- ・個別に合った支援を行なっており、発作などの対応は常駐している看護師が中心にケアをしている。
- ・茅ヶ崎の事業所の送迎に関しては職員間で意見を出しあって検討している。お互いに良い形になるよう体制を整えていきたい。事業所建て替えなどスタッフ間で意見を出し合って考えていきたい。
- ・今後引き続き利用をしていただきながら、皆様のご意見を伺い積み上げていきたい。資金的には正直厳しい面はあるが、将来に向かってご意見に応えられるよう努力していきたい。

<保護者より質問>

- ・えぽっくハウスが出来る前に、保護者対象に債券募集などの説明会があったが茅ヶ崎立ち上げ時に事前に説明会は予定しているか。

<スーパーバイザー：和田 清>

- ・えぽっくハウス立ち上げは福祉債券が基盤になっている。皆様の協力と支援が無ければ成り立たない。行政は後からついて来る。利用者の方から声を上げていく事が制度を動かしていく事になる。

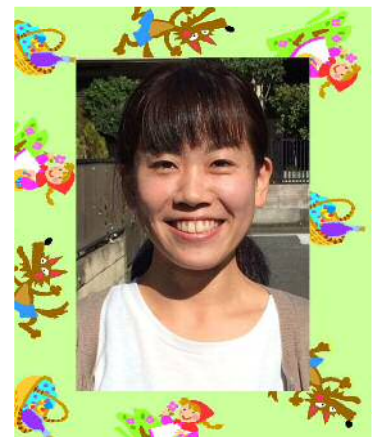
<法人として 理事長：伊藤 久美子>

- ・トムトムは障がい児の親の会がきっかけで現在に至っているが、保護者や地域の方に支えられながら職員主体で事業展開を行なってきた。今回の懇談会で皆様の思いはよく伝わった。大人になってからの人生を考えた上での支援を整えていくために、職員の意識向上も踏まえて皆様の思いを何とか形に出来る様努力していきたい。

## 新人職員紹介



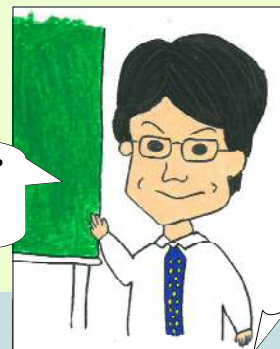
|          |                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ふりがな     | おおはし あゆみ                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 氏名       | 大橋 あゆみ                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 所属       | あいあいクラブ (兼務：ケアホームとむ郎の事務)                                                                                                                                                                                                                                          |
| 趣味       | スポーツ (やるのも、観るのも) L I V E や映画鑑賞                                                                                                                                                                                                                                    |
| 座右の銘     | 一期一会 / 人生における幸せは成功ではなく成長する事                                                                                                                                                                                                                                       |
| ストレス発散方法 | 家族や友達など大好きな人たちに会うこと。<br>美味しいものを食べること。                                                                                                                                                                                                                             |
| 好きな食べ物   | おいしいものは何でも大好きです。特に炭水化物です！                                                                                                                                                                                                                                         |
| 紹介文      | <p>今年の6月に非常勤として入職し、10月より常勤としてあいあいクラブととむ郎の事務として働く大橋あゆみです。以前は入所施設で約4年半、通所施設で約1年と働いてきました。別の職種も考えてみましたが、素直さ・純粋さを直接感じるこの仕事が大好きだと感じ、トムトムの仲間入りをさせていただくことになりました。</p> <p>私は環境や出会う人にとっても恵まれているなとトムトムで働いてからより実感しています。周りに感謝しながら毎日を大切にしっかりと成長していけるよう頑張りたいと思います。宜しくお願い致します。</p> |



# 第3回 相談支援はなぜ必要なのか

## 利用者からの目線

皆さんこんにちは！  
又村あおいデス



序・・・

前号でお伝えした通り、「総合支援法」の施行によって、「サービス等利用計画なしで個別給付の福祉サービスを利用できる」のは平成27年3月までとなっています。しかし、全国ではまだまだ相談支援員が不足しており、サービス等利用計画の配備が行き届いていない市町村があふれています。茅ヶ崎市も例外ではありません。多くの利用者ご本人やご家族がセルフプランという形でサービス等利用計画を作成したり、数少ない相談支援事業所の職員に大きな負担が掛かってしまっているのが現状です。

あと4ヶ月に迫った期限に間に合わない地域は本当に福祉サービスの利用が出来なくなってしまうのか？更新が間に合わなかった際の対応策等は未だ何も示されていません。

今回は利用者の方からの目線で相談支援の重要性をお伝えしていきますが、その配備の為に利用者の方々が福祉サービスを使えなくなってしまうような事態は絶対に避けなければいけません。

### サービス等利用計画はどう作られる？

「サービス等利用計画」とは、利用者の将来の希望、困り感、ご家族の意向等を踏まえ、その方にとってどんな支援が必要かをコーディネートするものです。相談支援員がサービス等利用計画を作るためにはご本人やご家族との信頼関係の構築が必要であり、今どんな事で困っているのか、将来はどうしたいか、ご本人は、ご家族はどう思っているかを引き出していかなければなりません。更に、前号でも少し触れましたが、この「サービス等利用計画」は支給決定の前に作成するものであり、そこが非常に重要なポイントです。

サービス等利用計画と比較される介護保険のケアプランは介護度の判定が出ると使えるサービスの総量が決まり、ケアマネージャーによって作成されます。しかし、障害福祉の分野では障害支援区分が出たところで、どんなサービスをどれ程の量使えるか分かりません。だからこそ、ご本人の意思決定を尊重しつつ、ご本人、ご家族と現状の課題や将来展望を共有したうえで、福祉サービスだけに限らない総合的な支援をコーディネートする必要があり、非常に高い専門性が求められます。

### サービス等利用計画が「命綱」となる理由

福祉サービスを使い始める際のサービス等利用計画の重要性はお伝えしました。しかし、それで終わりではなく、例えば18歳の時に作成したものが生涯変わらないということはありません。基本的には1～3年程の間隔で作り直しを繰り返していきます。サービス等利用計画を見ればご本人やご家族が将来に対してどのようなイメージを抱いているかを読み取ることができ、更に支援者は、その将来像に対してどのような支援をすれば良いかを導き出せる様な内容であることが必要で、それこそが利用者の「命綱」となる大きな理由です。

現在の障害福祉において、ご本人の支援の中心を担っているのは、殆どがその親であり、同時にサービスの組立て等も行っているケースが多いのです。しかし、年齢的に考えても親は子よりも先に亡くなるのが自然の流れです。ですから、障害福祉は家族介護を前提としていません。ご本人が地域で親元を離れ暮らし生きるために、福祉サービスやそれ以外の支援も組み合わせたサービス等利用計画が必要なのです。親亡き後、その方の支援や生活を総合的にコーディネート出来るのは現時点では相談支援しかありません。そのような方達にとって、サービス等利用計画は「命綱」といっても過言ではないのです。

レポート：和田エンデルレ 星治郎

# 福祉ショップ 「ありがとう」 オープニングセレモニー



右上オレンジ色のユニフォームがキャロット工房のメンバーです♪

7月28日(月)に平塚市役所本館1階の東側多目的スペースで、障がい者への就労支援と社会参加を図るとともに市庁舎利用者への啓発を目的とする福祉ショップ「ありがとう」のオープニングセレモニーが開催されました。

当日、セレモニーにも参加したキャロット工房のメンバーは、主に、焼き菓子の製造・販売、新鮮野菜の下処理に携わっており、地域の皆様に食品類をご提供する仕事が出来るといことでとても張り切っています。

えぼっくハウスで販売しているおにぎり、お総菜、お弁当、焼き菓子などはすべて手作りで温かみのある味わいで人気があります。また、平塚産の野菜、お米を取り入れている食品もあります。今後は、季節やカロリーを意識した新品にも挑戦していきますので、皆様、ぜひお立ち寄り下さい。その他、連携する事業所のパン、雑貨類も販売しています。



平塚市役所で毎日、販売しています。  
みなさん、買いに来てください！

## FM放送 ナパサに出演！

FM湘南ナパサ(78.3)に事業部長の露口と、えぼっくハウスの職員、近下、坂口、吉田の4名がなんと生出演！15分間「ありがとう」の宣伝をしました♪

1月も放送を予定しているので是非、聴いてくださいネ！

↓オンエア10分前の3人

めっちゃキンチョー！

みちゃ振り  
しないでよ！



どきどき  
うまくしゃべれるかな

↓スタジオの中はこんな感じです・・・



入会のおすすめ

## 賛助会員

トムトムは1997年7月に神奈川県茅ヶ崎市に設立しました。

私たちは、ハンディキャップのある方と、そのご家族のために、さまざまな福祉事業を展開している特定非営利活動(NPO)法人です。

設立当時を振り返ればこの14年間、法律が3度も大きく改正され、劇的な変化の連続でした。トムトムはその激しい時代を必死に歩み続けてきました。

自主事業だけで運営していた当時に比べれば、現在の運営状態は緩和されてきているものの、現在も法人の運営には、多くの皆様の温かい支援が必要です。そこで、マネーサポーター(賛助会員)としてトムトムを支えてくださる方を募集しています。

年会費は個人会員・団体会員ともに一口3000円からとなっております。会員になっていただいた方には、会報誌「トムトム通信」をお送りいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

## 寄附・賛助会員

THANK YOU

7月~10月

近藤(菜)様/飯田様/山崎様/原様/伊藤様/  
藤田様/清水様/山根様/ライフ自動車整備様/  
白川様/仲間様/小川様/後藤様/白濱様/  
小林様/岩城様/早川様/依田様/日下様/  
高崎様/長谷川様/内田様/近藤(孝)様/  
嘉山様/NPO法人みんなの家ココ様

### \* 編集後記 \*

最近、愛用の自転車に異変が起きました。タイヤの形が変だな?と思ったら、タイヤの横に裂け目を発見!交換用のタイヤを購入し修理完了!寒くなる前でよかった。相棒よ、これからも宜しくね。

岸 丈志 (所属: あいあい)

今回は、放課後等デイ特集ということであいあい、ゴロゴロ、ゆうゆうと多くの職員に原稿を寄せていただきました。職員にとっても自らの職務への思いを見つめ直す機会になったのではないかなと思います。

私もトムトムに入職して2年目に突入しました。より良い支援を提供していけるよう頑張ります。

松下 雄亮 (所属: とむ郎)

えぼっくハウスのご利用者、瀬古翔太さんが、去る8月2日(土)に永眠されました。  
心よりご冥福をお祈り申し上げます。

### 特定非営利活動法人 パーソナルサービスセンタートムトム

住 所☆神奈川県平塚市南原2-4-5マイズビル1階  
電 話☆0463-37-2012  
FAX☆0463-37-2013  
Email☆houjin@npo-tomtom.com  
URL☆http://www.npo-tomtom.com/

